

経済・金融 フラッシュ

地域経済報告(さくらレポート1月) : 差異がみられる地域ごとの景気判断

経済調査部門 研究員 桑島 滋

TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

1. 差異がみられる地域ごとの景気判断

日本銀行が1月18日に公表した「地域経済報告(さくらレポート)」によると、地域の景気動向について、「全ての地域が足もとの景気について持ち直している。」とし、前回(09年10月)の総括判断をやや上方修正した。

今回の総括判断では、「持ち直しの動きがみられる」とされた前回から、「持ち直している」へと修正されており、引き続き企業収益の低迷による設備投資の減少、厳しい雇用所得環境は続いているものの、政策効果による個人消費の回復、海外経済の改善などを背景とした生産の増加により、景気は回復基調にあることが示された。

地域ごとの景気判断では、4地域(関東甲信越、東海、近畿、九州・沖縄)の基調が上方修正となる一方、5地域(北海道、東北、北陸、中国、四国)の基調が変化なしとなり、全地域で上方修正となった前回、前々回と異なり、地域ごとの景況判断に差異がみられた。

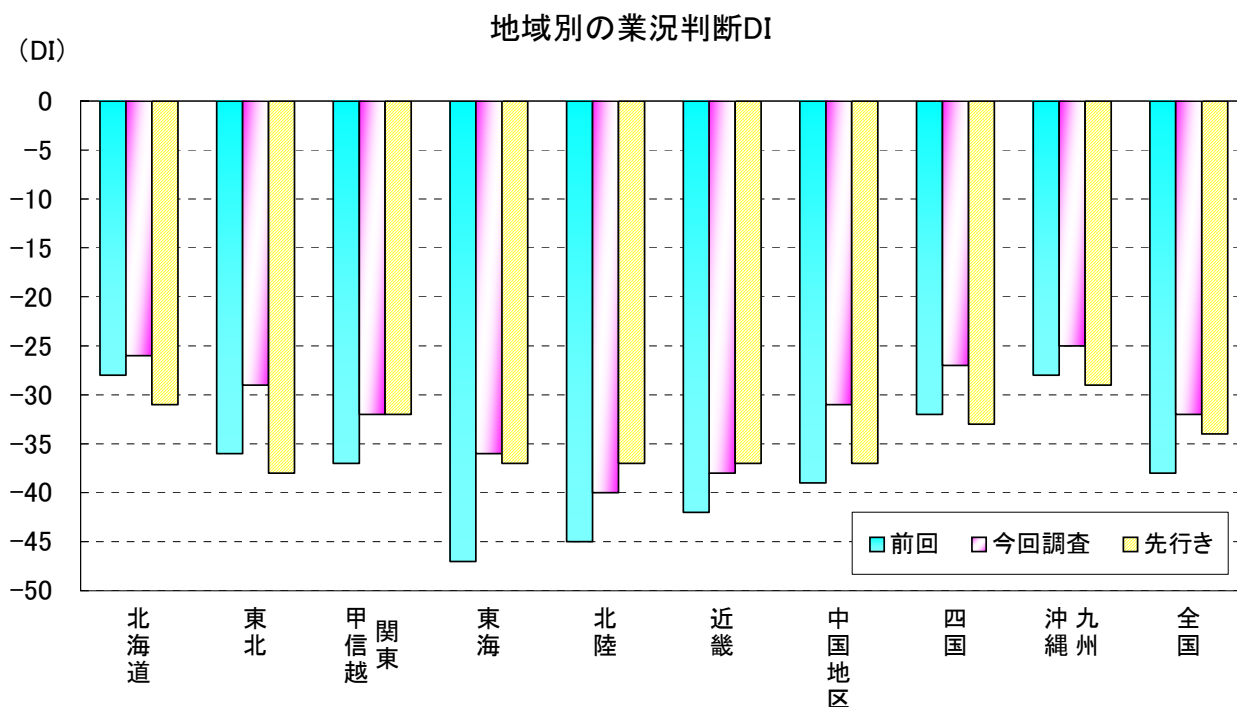
日本銀行による地域別景気判断の推移

地域		2009/1	2009/4	2009/7	2009/10	2010/1
北海道	景気判断	厳しさが増している	厳しさを増しており、低迷している	低迷している	低迷しているものの、持ち直しの動きもみられる	低迷しているものの、持ち直しの動きもみられる
	判断の変化	→	→	→	→	→
東北	景気判断	悪化している	大幅に悪化しており、厳しさを増している	厳しい状況が続いているが、下げ止まりつつある	厳しい状況が続いているが、製造業を中心に持ち直しの動きがみられる	厳しい状況が続いているが、製造業を中心に持ち直しの動きがみられる
	判断の変化	→	→	→	→	→
北陸	景気判断	悪化している	大幅に悪化している	依然として厳しい状況にあるが、下げ止まりの兆しがみられている	依然として厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられている	依然として厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられている
	判断の変化	→	→	→	→	→
関東甲信越	景気判断	悪化している	大幅に悪化している	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある	持ち直しに転じつつある	地理的および業種間のばらつきを残しつつも、全体としては持ち直している
	判断の変化	→	→	→	→	→
東海	景気判断	急速に下降している	急速に下降している	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まりつつある	持ち直しつつある	業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している
	判断の変化	→	→	→	→	→
近畿	景気判断	悪化している	大幅に悪化しており、厳しい状況にある	なお、厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある	雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる	雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、緩やかに持ち直している
	判断の変化	→	→	→	→	→
中国	景気判断	悪化している	悪化している	下げ止まりつつある	下げ止まりの状況のもとで、一部に持ち直しの動きがみられる	下げ止まりの状況が続くもとで、一部に持ち直しの動きがみられる
	判断の変化	→	→	→	→	→
四国	景気判断	弱い動きが広がっている	悪化している	悪化を続けているが、一部に下げ止まりの兆しがみられる	依然として厳しい状況にあるものの、全体として下げ止まっている	一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している
	判断の変化	→	→	→	→	→
九州・沖縄	景気判断	悪化している	大幅に悪化している	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある	持ち直しの兆しがみられるなか、下げ止まった状態にある	緩やかながら持ち直している
	判断の変化	→	→	→	→	→

(資料)日本銀行「さくらレポート」より作成

2. 2010年3月の業況判断DI(全規模・全産業)は9地域中7地域で悪化見込

さくらレポートと同時に公表された12月短観の9地域の業況判断DI(全規模・全産業)は全地域で改善となった。地域ごとに前回調査(9月)からのDIの変化幅を見ると、東海、中国、東北で改善幅が大きく、前回調査(9月)より最も大きく改善した東海で11ポイント(全国は6ポイント)の改善となった。一方、北海道は2ポイントの改善にとどまった。



(資料)日本銀行「さくらレポート」等より作成

業種別に地域ごとの業況判断DIをみると、製造業は全9地域、非製造業は横ばいとなった北海道を除く8地域でDIの改善がみられた。改善幅では、全地域で製造業が非製造業を上回った。製造業(全規模)では特に東海、東北の改善が顕著であり、ともに前回調査から16ポイント(全国:11ポイント)改善し、DIの改善幅では最大となった。東海は内外における自動車販売の回復を反映して自動車、鉄鋼などで、東北は電子・デバイスを中心とした電気機械などで大幅な改善がみられた。一方、非製造業(全規模)は全体的に小幅改善にとどまり、最も改善した中国でも6ポイントの改善となった。

業況判断DI(全規模・全産業)の先行きについては、北陸、近畿でDIの小幅改善が見込まれている一方、その他の7地域ではDIの悪化が見込まれている。中でも、北海道、東北、四国、九州・沖縄の4地域では、前回調査を下回る水準までDIが低下する見込みとなっている。また、業種別では、非製造業のDIが7地域で悪化見込となったのに加え、09年3月調査以降、2期続けて全地域でDIの改善がみられた製造業でもDIの悪化が見込まれている。

雇用・所得環境が依然厳しい状況にあることに加え、政府によるデフレ宣言などの影響から個人消費の低迷が予想される点や、円高、設備過剰感の高まりなどによる先行き不安が増大している点などを受けて、10年初め頃に一時的に景気の停滞感が強まるものと思われる。

短観における地域別業況判断DI

(1) 業況判断DI(全産業)

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国 (参考)
08年12月	▲ 28	▲ 34	▲ 33	▲ 22	▲ 27	▲ 21	▲ 29	▲ 25	▲ 20	▲ 24
09年3月	▲ 36	▲ 52	▲ 54	▲ 45	▲ 55	▲ 48	▲ 50	▲ 41	▲ 38	▲ 46
6月	▲ 35	▲ 49	▲ 55	▲ 44	▲ 55	▲ 50	▲ 50	▲ 42	▲ 35	▲ 45
9月	▲ 28	▲ 36	▲ 45	▲ 37	▲ 47	▲ 42	▲ 39	▲ 32	▲ 28	▲ 38
12月	▲ 26	▲ 29	▲ 40	▲ 32	▲ 36	▲ 38	▲ 31	▲ 27	▲ 25	▲ 32
10年3月(予)	▲ 31	▲ 38	▲ 37	▲ 32	▲ 37	▲ 37	▲ 37	▲ 33	▲ 29	▲ 34

(2) 業況判断DI(製造業)

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国 (参考)
08年12月	▲ 15	▲ 30	▲ 33	▲ 27	▲ 34	▲ 24	▲ 27	▲ 10	▲ 19	▲ 25
09年3月	▲ 34	▲ 60	▲ 68	▲ 61	▲ 69	▲ 57	▲ 55	▲ 30	▲ 43	▲ 57
6月	▲ 29	▲ 51	▲ 64	▲ 57	▲ 64	▲ 58	▲ 55	▲ 36	▲ 41	▲ 55
9月	▲ 24	▲ 40	▲ 48	▲ 46	▲ 52	▲ 46	▲ 38	▲ 27	▲ 31	▲ 43
12月	▲ 17	▲ 24	▲ 41	▲ 35	▲ 36	▲ 38	▲ 30	▲ 18	▲ 22	▲ 32
10年3月(予)	▲ 21	▲ 34	▲ 33	▲ 32	▲ 38	▲ 38	▲ 33	▲ 25	▲ 23	▲ 33

(3) 業況判断DI(非製造業)

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国 (参考)
08年12月	▲ 33	▲ 37	▲ 33	▲ 19	▲ 21	▲ 19	▲ 31	▲ 36	▲ 21	▲ 23
09年3月	▲ 38	▲ 46	▲ 44	▲ 35	▲ 40	▲ 40	▲ 46	▲ 47	▲ 35	▲ 38
6月	▲ 37	▲ 47	▲ 48	▲ 36	▲ 45	▲ 42	▲ 46	▲ 47	▲ 32	▲ 39
9月	▲ 30	▲ 34	▲ 42	▲ 32	▲ 41	▲ 38	▲ 39	▲ 35	▲ 28	▲ 33
12月	▲ 30	▲ 32	▲ 39	▲ 31	▲ 36	▲ 37	▲ 33	▲ 32	▲ 25	▲ 30
10年3月(予)	▲ 35	▲ 41	▲ 38	▲ 32	▲ 37	▲ 37	▲ 40	▲ 39	▲ 34	▲ 35

(資料) 日本銀行各支店公表資料より作成

(注) 10年3月は、09年12月時点における先行きの数値

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。